

トルコ為替週報

2021年11月9日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉

(11月2日～11月8日)

USD/TRY: 9.4725～9.7650
TRY/JPY: 11.63～11.99 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、下押し先行後、安値圏での横ばい。先月の急落局面と比較して穏やかな値動きを見込んでいたが、2～3日の2日間だけで予想以上の値幅が出た。3日に前後しての続落は、10月CPIの予想外の下振れを受けた値動きとの解説も一部で聞かれたが、全く腑に落ちなかった。物価下振れが追加利下げ余地を拡げたとの解釈であったようだが、それは「普通」の中央銀行に対してのみ通用する発想。トルコ中銀の場合、「金利が上がれば物価が上がる」ことを前提に金融政策を運営しているのだから、物価下振れはむしろ金利引き下げ要因と読むべきだったはず。或いは、百歩譲ったとしても、トルコ中銀が、現状、物価動向を考慮して金融政策判断を行っているとは到底考えられなかった(したがって、物価動向がリラの値動きに影響したと考えること自体が腑に落ちなかった)。現地時間3日午後のリラ反発局面と、現地からエルドアン大統領が体調不良との噂(一部では「死去した」との観測も流されたという)が聞かれたタイミングが一致したものの、この局面の値動きは米連銀公開市場委員会直前のドル全面軟調(対円などを除く)の一環のように思われた。この間、トルコからはエルバン財務相が辞任したとの観測も聞かれた模様で(アルトゥン大統領報道官が5日に否定)、様々な流言飛語が飛び交う状況は、国内政局の動揺を反映しているように感じられた。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

| 月日 | GMT | 指標 | 期間 | 発表 | 予想* | 前回 |
|------|------|----------|-----|---------|---------|---------|
| 11/3 | 7:00 | CPI(前年比) | 10月 | +19.89% | +20.35% | +19.58% |

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(11月9日～11月15日)

USD/TRY: 9.600～9.850
TRY/JPY: 11.50～11.80

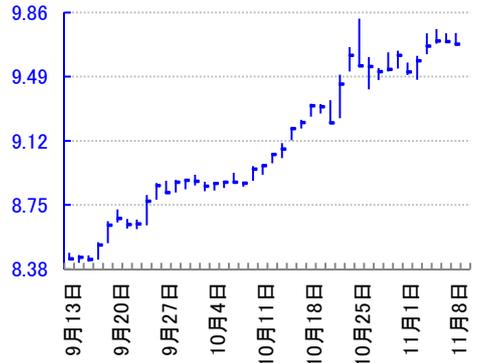
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、足元リラ安推移の継続を予想。ただし、9月初旬から2ヵ月あまりの間に対ドルで15%を超えるような、一方的なリラ安進行には、流石に「行き過ぎ」の感も抱く。戦争が起きたわけでも、災害に見舞われたわけでもないのに、ひとつの国の国力が、2ヵ月で15%も減価したというのは、ただごとではない。トルコ経済が徒に過大評価されていたというのであれば、それも起こり得た振幅かもしれないが、そのような前提は成り立つまい。リラの場合、僅か2日間で(対ドルで)23%も減価した「実績」を持つ(2018年8月)点には留意も必要か。もっとも、往時の急落の2日後には最大で26%も反発するような、そもそもボラティリティの高い通貨だが、今般、それだけの反発を見込むにはリラの置かれた状況は芳しくないように思われる。リラの反発余地という目線で、敢えて注目しておきたいのは11日発表予定のトルコ9月経常収支。市場は2ヵ月連続の黒字を予想しているようだが、仮に市場の予想に沿った数字に落ち着くのであれば(かつ、同統計が信頼できることが前提にはなるものの)、対内証券投資の出入りがほぼ途絶えたと思われる現状で、経常黒字の積み上がりは、リラ需給に着実な変化をもたらすことが考えられる。2018年後半に進んだリラの大幅反発も、リラ急落→経常収支大幅改善→リラ反発という推移をたどった。先週辞任が噂されたエルバン財務相は、4日、「トルコ政府が輸出競争力を高めるためにリラ安を誘導しているとの見方は正しくない」と述べていたが、政府が意図しようがしまいが、これだけ通貨が安くなれば、当該国の貿易/経常収支に影響をきたすのは避けられないところであろう。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

| 月日 | GMT | 指標 | 期間 | 発表 | 予想* | 前回 |
|-------|------|---------------|-----|----|---------|---------|
| 11/10 | 7:00 | 失業率 | 9月 | | | 12.1% |
| 11/11 | 7:00 | 経常収支(USD) | 9月 | | +1.25bn | +0.53bn |
| 11/12 | 7:00 | 期待インフレ率(12ヵ月) | 11月 | | | +13.91% |
| | 7:00 | 鉱工業生産(前年比) | 9月 | | +10.2% | +13.8% |
| | 7:00 | 小売売上高(前年比) | 9月 | | | +15.0% |
| 11/15 | 8:00 | 財政収支(TRY) | 10月 | | | -23.6bn |

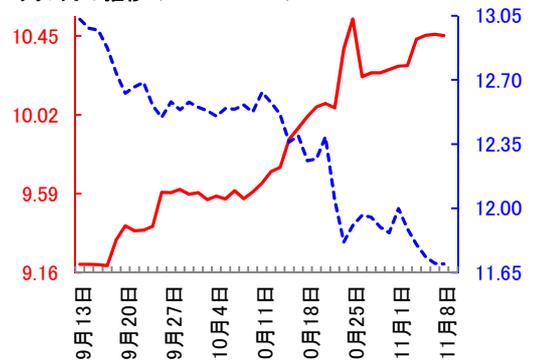
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



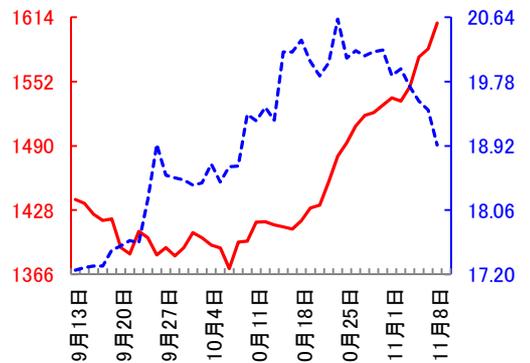
バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)

リラ/円の推移(ロンドン 17:00)



株式市場の推移(ISE 100種指数)

長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料:トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

| | | |
|--------------|-----|---------|
| 1週間物レボ金利 | | 16.00% |
| 成長率(GDP/前年比) | Q2 | +21.7% |
| 失業率 | 8月 | 12.1% |
| 消費者物価(前年比) | 10月 | +1989% |
| 鉱工業生産(前年比) | 8月 | +13.8% |
| 小売売上高(前年比) | 8月 | +15.0% |
| 貿易収支(USD) | 9月 | -2.55bn |
| 経常収支(USD) | 8月 | +0.53bn |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。